

## ◎卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学科では学則で定める卒業に必要な単位数を取得することが学士号授与の要件となる。  
また、卒業までに次の4つの力を有することを重視する。

1. 知識・理解
  - ・対象を全人的にとらえる基本的能力
    - ：人間を様々な側面を持つ存在として健康の視点から包括的にとらえるための基本となる能力
2. 汎用的技能
  - ・看護者としての実践力
    - ：人々の健康課題に対応でき、科学的根拠に基づいた看護を実践しうる能力
3. 態度・志向性
  - ・豊かな人間力
    - ：人間の尊厳や倫理の意味を理解した上で、あらゆる対象者を理解し援助関係を形成する能力
  - ・多職種と連携する力
    - ：保健・医療・福祉・教育の領域において多職種と連携、協働しながら看護を発展、充実させる能力
4. 総合的な学習経験と創造的思考力
  - ・専門性を発展させる力
    - ：自己啓発能力と研究的態度を身につけ、社会の動向に関心をもち、看護の専門性を発展させる能力

## ◎教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

本学科の教育課程はディプロマポリシーに基づき、以下の5つの領域で編成する。

<人間的成長を促す領域>

この領域は、「看護の精神」「女性発達学」「プロジェクトJ」の3つの分類からなり、個人としての成長と生涯学習の基盤づくりとなるものである。

<情報を活用し表現力を高める領域>

この領域は、「情報技術」「表現技術」の2分類からなり情報化と国際化が進む社会の中で人とコミュニケーションできる力を育成するものである。

<看護の軸となる領域>

この領域は、「人間の発達」「健康の科学」「生活の支援」の3つの分類を絡みあわせながら看護の軸を形成していくものである。

<看護の基盤となる領域>

この領域は「ヒューマンケアリング」「社会・倫理・制度」「看護論」「看護技術」の4つの分類からなり、看護学の基盤となる考え方や態度を育成するものである。

<実践力を発揮する領域>

この領域は「実践看護学」「看取りの看護」「看護トピック」の3つの分類からなり、看護職者として、健康の回復だけではなく人生の最期をも視野に入れた看護が実践できる力を養うものである。また、卒業後も自ら研鑽しながら看護実践力を高めていく素地を養うものである。

## ◎入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

本学科では次のような人を求める。

1. 自ら学ぶ意欲のある人
2. 看護学を学ぶのに必要な基礎学力を有する人
3. 人に対する関心があり、人と人とのかかわりを大切にできる人
4. 人間の尊厳を考えることができる人
5. 社会の出来事に対し関心を寄せ、自分の考えが持てる人